

# 平成 29 年度 毛長川流域連絡会（第七期） 活動報告書

## 毛長川流域連絡会の概要

- 第六建設事務所では、毛長川を地域に活きた親しめる川とするため、流域の皆様や足立区、東京都が情報や意見の交換を行うことを目的として、平成15年に毛長川流域連絡会（以下「連絡会」という。）を設置いたしました。
- 連絡会は2年を1期とし原則として年に2回開催しており、平成29年度は新たに第七期目として都民委員の募集を行い、委員19名[都民委員12名（団体委員11名、公募委員1名）、行政委員6名、オブザーバー1名]により構成されました。今年度は第24回として第七期1回目連絡会を開催し、第25回は現地視察を実施した。

## 平成 29 年度の活動内容

### 第 24 回流域連絡会

- 日時：平成30年1月22日（月）14時～16時
- 会場：足立区花畑地域学習センター 2階 第1・第2学習室
- 参加人数：16名（都民委員11名、行政委員5名）
- 議題・議事概要
  - ・平成30年1月22日の14時から16時まで、足立区花畑地域学習センターにおいて、第24回毛長川流域連絡会が開催されました。東京都からの報告事項をもとに、毛長川について意見交換が行われました。



1. 開会
2. 事務局長挨拶
  - ・東京都第六建設事務所副所長兼工事課長が挨拶
3. 委員の紹介
  - ・都民委員、行政委員の自己紹介

#### 4. 座長・副座長の選出

#### 5. 議題（東京都からの報告）

##### 「整備状況」について（事務局）

###### 〈概要〉

- ・綾瀬川合流点から見沼代用水合流点区間の整備方法は、鋼管矢板を打ち河床を掘り、断面を広げる作業を行う。その後、鋼管矢板の修景や護岸の嵩上げを行っていく予定である。
- ・舎人橋から上流区間も、同じように鋼管矢板を打ち、作業終了後再度川底を掘り下げ、必要な断面を確保していく。最後は鋼管矢板の修景を行う。
- ・舎人橋の架け替えが平成23年度に終了した。来年度から地元の理解を得ながら上流部の整備を進めたいと思っている。
- ・今後の整備だが、舎人橋上流の護岸整備に着手するため、来年度に事業説明会を実施したいと考えている。

###### 〈質疑・意見〉

- （質問）鋼管矢板の上は遊歩道になるのでしょうか？  
（都）現在検討中です。

##### 「河床掘削工事」について

###### 〈概要〉

- ・掘削した土砂については、住宅が近接している範囲があり、土砂を直接持ち出すことが難しいため、鷺宮橋の空き地を利用してプラントを設置している。
- ・掘削した土砂は、鷺宮橋のプラントまで約5kmのパイプラインで圧送し、粘土層を水と砂に分けて、ダンプで持ち出す。
- ・本格的な工事は平成30年2月から始める予定である。

###### 〈質疑・意見〉

- （質問）工期は平成30年6月29日までとあるが、もっと上流まで行わないのか。  
（東京都）主の工事は出水期前の5月中に完了させなければならないので次年度になる。

##### 「大鷺さくら橋」について

- ・橋面が兩岸現原路より高くなることもあり、影響範囲等、整備しなければいけない。足立区側は、現在の歩道が少し狭いため、歩道を前出しする工事を考えており、現在、契約手続き中である。
- ・この道路工事が大体終わってから、残っている上流側の護岸工事とさくら橋の撤去工事を行う予定である。撤去工事をする前に歩道部分だけは解放したいと考えている。
- ・さくら橋の撤去が終わると、四隅は少し橋が高くなるため、ゆるやかに歩行者が上れるようなスロープを設置する工事を着手していきたい。

###### 〈質疑・意見〉

- （質問）大鷺さくら橋の位置はどこか？  
（東京都）鷺宮橋と花畑大橋の間に位置している。

（質問）歩道だけを開放しなくてもよいのではないか？

（東京都）人道橋に撤去工事は、作業ヤードとしても車道の半断面が必要となるため先行して片側の歩道の開放を早期に行う必要がある。

### 「魚類調査等」について

- ・平成28年の7月から10月にかけて、定置網、刺網、投網、タモ網等を用いて、荒川、綾瀬川、毛長川、圀川の4河川6地点で魚類調査を実施した。綾瀬川の2地点は、底生生物の採集も実施した。
- ・調査の結果、魚類は合計5目11科27種の魚類が確認された。重要種は7種、外来種は9種、特定外来生物は4種確認された。
- ・確認種の59%が淡水魚、7%が回遊魚で、汽水・海水魚が33%であった。毛長川は比較的上流に位置するため、淡水魚の割合が高かった。毛長川では特定外来生物が2種確認された。
- ・経年変化については、毎年4種から10種の間で推移している状況である。毛長川は多様な生息環境を反映して、毎年多くの魚類が確認されているが、圀川については、単調な河川のため、確認種は少なく、花畑川、中川等では確認種が増加している。
- ・近年、観賞用や、ペットとして持ち込まれた種が多く確認され、在来種の競合面で問題がある。ペットや観賞用のものを屋外に放たないといった啓発活動も行う必要があると考えている。

### 「水防」について

- ・過去3年内における東京都水防本部の設置回数は、10~13回と多めであった。要因として、集中豪雨や台風で水防本部が設置されることが多く、集中豪雨は夕方の雷など、一時的なものに留まることが多いため、2日間にまたがることは少ないが、台風の場合は大雨で増水した後に、2日間、場合によっては3日間、長引くことがある。平成29年に関しては、台風21号の影響で、10月22日から24日にかけて東京都水防本部を設置した。この時の毛長川の水位は、毛長橋の観測所で、23日の0時に降水のピークを迎え、水位は最大136cm近くまで上昇した。氾濫注意水位の196cmを超えたが、氾濫警戒水位を超えることはなかった。
- ・台風21号通過時の警報・注意報の状況を見ると、22日の8時45分に大雨注意報、19時17分に警報、23日の0時に洪水警報が発令されたが氾濫等はなく、9時28分に大雨注意報が解除、洪水注意報が24日の11時13分に解除された。洪水警報が長引いたため、第六建設事務所の水防体勢は、台風が過ぎたあと24日の13時頃まで続いた。

### 「毛長川流域連絡会における分科会立ち上げ（案）」について説明

- ・分科会設置の目的は、舎人橋から上流の護岸整備を進めるにあたり、護岸及び護岸にかかる足立区の舎人緑道公園の整備について、地元の意見交換を行うことである。
- ・今回の整備箇所が毛長川の上流部に位置しており、関連する町会が限られているため、地元への説明をどこまでするか、また、緑道公園の一部を工事するため、サクラの伐採が必要であり、復旧方法をどうするか地元の声を聞きながら、協力して進めていきたい。
- ・仮称ではあるが、舎人橋上流護岸整備検討分科会とし、分科会の委員は、関連する地域の町会と、足立区、東京都、オブザーバー、埼玉県側の事務所を考えている。川口市の町会も委員として招き、どう説明していくか意見をもらう。
- ・今後のスケジュールは、できれば4回ほどで方向性をまとめていきたいと考えている。

### 事務局からの報告（次回の流域連絡会について）

- ・次回流域連絡会については、現場を視察する予定である。
- ・今回、予定しているのは、船で川の状況を見てもらえないかというもので、毛長川に入るのは難しく、他の中小河川を見てもらえるよう調整をしているが、船の確保次第日程を組む。

閉会

## 第 25 回流域連絡会（現場視察）

---

- 日時：平成30年3月23日（金）14時～15時半
- 場所：里人やすらぎ橋、鷺宮橋下流右岸の脱水処理設備
- 参加人数：13名（都民委員8名、行政委員5名）
- 議題・議事概要
  - ・平成30年3月23日の14時から15時半まで、毛長川河川掘削工事の工程視察として、里人やすらぎ橋の掘削現場と、鷺宮橋下流右岸の脱水処理設備にて、第25回毛長川流域連絡会が開催された。

### 1. 開会

### 2. 事務局長挨拶

- ・東京都第六建設事務所副所長兼工事課長が挨拶

### 3. 工事概要説明

### 4. 現場視察

吸引圧送船及び水上管設備、脱水処理設備を視察しました。



吸引圧送船



水上管設備



脱水処理設備

5. 質疑応答

〈質疑・意見〉

(質問) シルトとは何ですか？

(工事受託者) 粘土と砂の間ぐらいの粒子の物質です。

閉会